

特集

道路整備で暮らしの安全 安心と経済を支えます

県では、県民の皆さんが安全に安心して暮らせるよう、また、観光・産業を活性化して県の経済を発展させるため、「奈良県道路整備基本計画」に基づいて効率的・効果的に道路整備を進めています。

骨格幹線道路ネットワークの形成

- 県土の骨格を形成すべき特に重要な路線網を重点的に整備します。
・京奈和自動車道、紀伊半島アンカールートの早期整備 等

生活利便の向上

- バスなどの公共交通利便の増進
・バス停やアクセス歩道等の整備
- 買い物・飲食等消費の利便の増進
・駅周辺の駐車場や結節点等の整備
- 高齢者のための道路環境整備
・バリアフリー化、ユニバーサルデザインの推進

安全・安心の確保

- 災害に強い道路整備
・高規格道路の整備、構造物の耐震化 等
- 老朽化に対応した適切な維持管理
・橋や道路の総点検と対策の実施
- 暮らしを支える交通安全対策
・生活道路の安全確保
通学路の整備 等

観光の振興

- 観光地へのアクセス強化
・インターチェンジ(IC)アクセス道路やバスターミナル等の整備
- 観光地間の周遊促進
・案内標識や自転車道等の整備
- 観光地内の回遊促進
・案内標識や散策路の整備

企業立地の支援

- 産業集積地へのアクセス道路確保
・工業団地アクセス道路等の整備
- 通勤や業務移動の円滑化
・バス等公共交通利便性の向上
・渋滞対策の推進



奈良市田原町

桜井市臨本

安全・安心の確保

災害に強い道路整備

紀伊半島大水害で甚大な被害を受けた奈良県南部地域が、「災害に強く、希望の持てる」地域となるよう、紀伊半島アンカールートの整備に取り組んでいます。

災害に強い道路の整備により、紀伊半島全体の防災性を向上させ、近い将来発生が危惧される南海トラフ地震等の広域災害への対応力を強化します。

通学路における安全対策の推進

平成24年度に、国、県、市町村（教育委員会、道路管理者、警察）の関係者と連携し、通学路の緊急合同点検を実施した結果、対策必要箇所として、県内で1,341か所が挙げられました。

側溝の蓋かけや防護柵の設置など、すぐに効果が発揮できる速効対策を優先的に実施し、平成25年度末までに約9割が対策済みとなりました。

紀伊半島アンカールート



国道168号
五條新宮道路

天ノ川大橋(五條市大塔町辻堂)
トンネルや橋による災害に強い高規格道路を整備中

アンカールートとは？

紀伊半島の骨格となる京奈和自動車道、近畿自動車道、国道168号、五條新宮道路、国道169号を結んだ形が船の錨(アンカー)に似ていることから付いた呼称。

対策前



対策後



奈良市立平城小学校区
(事業主体 奈良県)
側溝に蓋かけし、歩道の幅が広げられ、安全な通学路を確保

橋梁の長寿命化

県内には、約1万の道路橋があり、高度経済成長期の昭和30年から50年の間に建設されており、県の経済発展に多大な役割を果たしてきましたが、建設後50年を経過し、劣化や損傷の危険性が高まっています。

このため、本県では、管理橋梁の点検・調査を行い、「奈良県橋梁長寿命化修繕計画」をとりまとめ、「事後保全」から「予防保全」への方針転換に組織的に取り組み、道路橋の安全・安心な通行の確保や維持管理コストの削減を図っています。

対策前

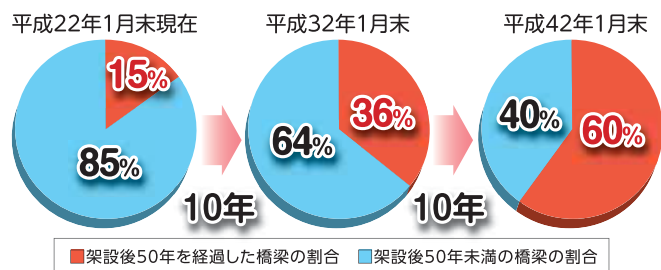


対策後

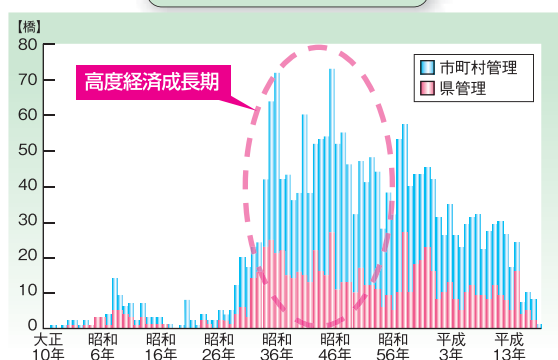


国道169号 音無橋(川上村西河)
老朽化した橋桁の塗装や、橋脚を補強して長寿命化を図る

架設後50年を経過する橋梁割合



年次別架設橋梁数



企業立地の支援

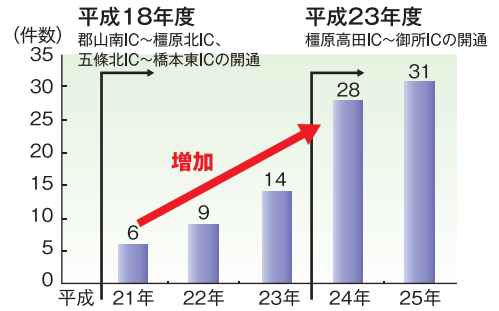
京奈和自動車道の整備効果

京奈和自動車道周辺で「奈良県企業立地基本計画」に基づく企業立地が進んでいます。平成26年度の(仮称)大和郡山ジャンクション(JCT)の完成と、御所インターチェンジ(IC)〜御所南インターチェンジ(IC)の開通により、さらなる利便性の向上と地域活性化が期待されます。



西名阪自動車道と京奈和自動車道をつなぐ県内初のJCT工事現場(平成26年7月1日時点)

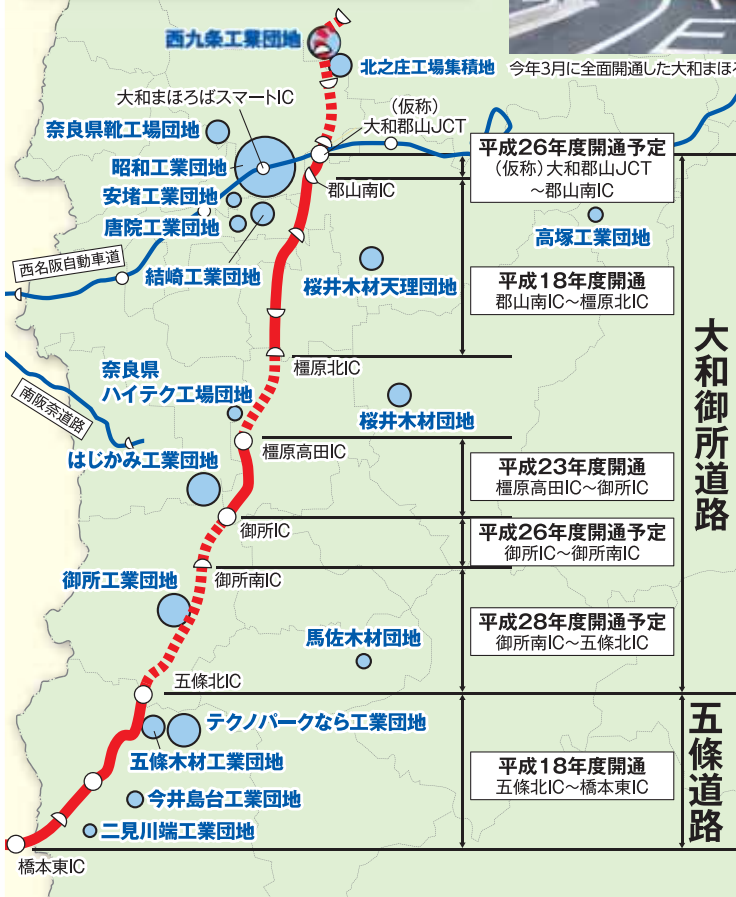
大和御所道路周辺の企業立地状況



※企業が企業立地計画や新たな設備の導入による事業高度化計画を提出して県の支援制度の承認を受けた件数

特集

京奈和自動車道周辺の工業団地等位置図



今年3月に全面開通した大和まほろぼスマートIC

大和御所道路

五條道路

地域の取組紹介

道路の整備は地域の皆さんによって支えられています

「花咲きロード」

富雄中学校(奈良市)の校門前を南北に走る県道沿いの、約150mの歩道の植え込みを「花咲きロード」と名付け、学校と地域が協働で一年中きれいな花を咲かせています。毎年植え込み作業をされ、今年で5年目になります。

また、夏休みには、地域のボランティアや老人クラブの皆さんが、当番を決めて水やりをされているので、枯れることなくきれいに咲き続けています。



生徒ボランティア約100人と地域のボランティアや教職員併せて約30人で植栽

知事からひとこと

道路は、通勤、通学、買い物、散策などさまざまな目的の生活交通を支える基盤であるとともに、企業立地や観光振興など地域活性化にも重要な役割を果たしています。

道路はネットワークとして一体的に機能することから、市町村道などについても橋梁やトンネルの点検・修繕について支援するなど、効果的・効果的な道路整備を進めて参ります。

